

平成26年2月18日(火)

教育委員協議会資料

資料 高知南中学校・高等学校保護者会(2/15)における主な意見(抜粋)

高知南中学校・高等学校保護者会(2/15)における主な意見（抜粋）

1 今後の高校教育等の在り方と適正規模について

- ・ 生徒数の減は平成13年から始まっている。今になって閉校というのは納得がいかない。
- ・ 高知市及びその周辺地域の中央部については、6～8学級となっているが、基本的な考え方では適正規模は4～8学級とされている。クラス数が6学級から4学級になると弊害が出るというのは、何が根拠か。
- ・ 小規模校で勉強するのがいいのではないか。マンツーマンでもいいのではないか。高知県の学力は全国的に見て低い。高校に行きたくても学力的にいけない子もいる。小中からしっかり教えていくことが大切ではないか。
- ・ 小中学校は少人数制で学力向上を図っている。人数のことだけ言うのはおかしい。10年後を考えるのであれば、1年後、2年後のことも考えていただきたい。
- ・ 20人でも25人でも学校はちゃんとしたことをやらないといけない。生徒が少なくとも部活でもやり方次第で結果が残る。
- ・ 高知県は学校が多すぎると聞いている。学校数が多すぎて経営がうまくいかなかったから閉校にするのではないか。
- ・ 特色がある学校をなくすのはもったいない。今あるものを使ってやるべきではないか。
- ・ 県教委に最大予算が計上されている中で閉校にするのはおかしい。校舎の寿命も40年程度から70年～80年に変更された。まだまだ使える。
- ・ 巨額のお金を投じて中高一貫教育校を設立している。それを壊して、さらに高知西高校にお金を遣う。税金の無駄である。
- ・ 高知西高校は単独で高校の定員を減らして中高一貫をやればいい。
- ・ 県立高等学校再編振興検討委員会の報告書には、魅力化を図って生徒数確保に努めてもなお最低規模を満たさない場合、統廃合もやむを得ないと書いている。高知南中高校の統廃合は勝手に事務局が作成している。また、中高一貫については力を入れていくと書いてある。これをしっかり踏まえて進めてほしいと、検討委員会の議事録にも書かれている。

2 なぜ高知南中高校なのかについて

- ・ 統合するのは高知南中高校でないといけない理由は何か。高知南中高校が望まれたレベルに達していないから高知西中高校に作り直すというように取れる。
- ・ 現在12年間で一番高知南の状態が良い。学習環境が確保されている学校である。これからさらに成果が出ると思う。そういう状況が分かっているのか。

3 生徒への対応について

- ・ 心のケアはプレス発表前にするべきではなかったか。
- ・ カウンセラーが来ても100%の回復は無理である。
- ・ 生徒への説明はどうするのか。

4 地震対策等について

- ・ 津波ならば移転すべきではないか。
- ・ 一番危ないのは若松町の辺りである。棧橋の辺りは今すぐ津波対策をやらないといけないレベルではない。地震は理由にならない。
- ・ 地域の方も防災で努力しており、防災連合を作っているので地震対策はクリアしている。
- ・ 高知西高校に新校舎を建てると狭い敷地がさらに狭くなり密集地になるため、津波が来なくても危ない。耐震工事をして100%防げる保証はない。

5 今後の進め方について

- ・ 私たちの意見を盛り込んだ案を2つ、3つ作らないといけないのではないか。
- ・ もう一度、この統合案に関して検討してもらえないか。
- ・ 教育委員と話す機会を早急に取りいただきたい。